

牧師所感： 廃棄物となっていた電子辞書

— 40年振りに蘇る —

人生90才以上年を取ると、自己自身は勿論のこと、周囲の皆があの世に近い存在として、ぞんざいに扱う。言ってみれば90以上も生きたんだから、ぞんざいにされるのが当然かも知れない。生きていても家族に迷惑を掛けるのが落ちだが、他人様からすれば優に及ばない存在であろう。

さて最近、体の調子に異変が起きて、急遽千葉県四街道徳洲会病院に入院する羽目になった。

ところで韓国大邱在住の知り合いのお医者様に、体の具合が悪くて（脳梗塞）、緊急入院しました、とメールで伝えたところ、「九十歳の同年齢の人は95%が死去、只5%が生存していますよ」とあっけなく応じられた。少し淋しい思いはしたけれど、お医者様としては、当然の事を知らせてくれたと思い納得した。

さて二、三週間前の牧師所感にも書いたが、死に備えて、身の回りを整理することで、忙しい。整理の途中、机の中から寿命が尽きた手垢の付いた電子辞書が出て来た。4、50年間愛用していた電子辞書だ。出て来たついでに、バッテリーを取り替えて、スイッチを入れた途端「中の資料が完全に無くなりました」と知らせてくれた。ゴミ箱に入れようとして、バッテリーを取り出すつもりで、もう一度スイッチを押して取り出そうとした時、我が目を疑った。電子辞書は生きていた。画面は真新しい新品のように修復されていた。奇蹟が起きたと思った。神様に感謝した。

この辞書は韓国製品で、中国より造られている。워드콤 바이블 (ward com BIBLE) JUNGPOONG PRODUCTS CO,LTD S/N 09405776

筆者はこの辞書の修復により、大いなる生に対する勇気をいただいた。主なる神様が生かしてくれる迄、使命に忠実に生きようと、心を改めた。ハレルヤ！！